

【様式3】

第5期下川町総合計画実施事業調書（後期基本計画）

新規

事業名	特産品振興事業			事業コード	
担当課	環境未来都市推進課	担当グループ	商工振興グループ	担当者	神尾一幸
施策	商工業		推進施策	中小企業の振興	

①事業の概要

(1)事業の目的(何のためにこの事務事業に取り組むか)	
■下川町の特色を活かした産業振興、伝統的な産業技術の継承・発展を目指します。	
(2)現状と課題(過去と現在との比較や、課題、今後の予測、町民ニーズなど)	
■下川町の特産品として技術が受け継がれてきた「手延べ麺」は、事業主高齢化による廃業などから現在は生産者が10件となり、今後もその加速化が懸念される状況にあり、担い手の確保、特産品としての生き残りに向けた取組が重要な課題です。	
(3)事業内容・事業量(事業内容・事業量など、継続事業については変更内容も記載)	
■手延べ麺の生産技術をより広く継承するための仕組みづくり、研修施設整備などに向けた調査・研究を進めます。	
(4)実施期間	( 28 年度～ 30 年度)
(5)実施主体	町内事業者

②事業にかかる経費

会計名		一般会計					款	6	項	1	目	1	単位:千円
年度	基準年	実行計画期間					展望計画期間					期間合計	
	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	計	31年度	32年度	33年度	34年度	計		
事業費	0	0	1,000	1,000	1,000	3,000	500	500	500	500	2,000	5,000	
事業費内訳	投資的事業補助費等		1,000	1,000	1,000	3,000	500	500	500	500	2,000	5,000	
	扶助費					0					0	0	
	繰出金					0					0	0	
	その他					0					0	0	
財源内訳	国道支出金					0					0	0	
	地方債					0					0	0	
	その他					0					0	0	
一般財源	0	0	1,000	1,000	1,000	3,000	500	500	500	500	2,000	5,000	
特記事項													

③事業を実施したことにより期待される成果

■地元特産品「手延べ麺」を将来的にも継続できる体制を整備することで、地域産業活性化と、担い手の確保、これまで確立した「しもかわの手延べ」の名前が消えていくことを防ぐとともに、更なる生産拡大、大手市場への進出などへの基盤を確立します。								
活動指標(事業量や実施回数など活動量)								
指標名	生産者数							
指標式								
指標推移	区分	基準年(H26)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標値(H30)	単位
	目標値	10	10	10	10	12	12	件